



競技中の動きやすさを追求 ウエイトリフティング日本代表の新ユニフォーム完成

ミズノは、公益社団法人日本ウエイトリフティング協会とのオフィシャルサプライヤー契約に基づき、2021年シーズンにウエイトリフティング日本代表が着用するユニフォームを製作しました。男女ともにウエイトリフティング日本代表の選手たちが国際大会で着用します。

ユニフォームの生地には、伸縮性に優れた2Wayストレッチ素材を採用することで、競技中の動きやすさを追求しました。日の丸を表現する赤と白をメインカラーに、デザインにはミズノが2021年から様々な競技で展開している『ダイバーシティグラフィック』を採用しました。

このデザインは、東京の街を背景に選手と応援するすべての人々のそれぞれの思いが融合することで、躍動する日本の一体感と沸き立つエネルギーを表現しています。また、先の見通せない状況でも、人々の思いを繋ぎそれぞれの挑戦を後押ししたいという思いを込めています。



<ユニフォームのデザインについて>

ミズノはサプライヤー契約を締結している国内の競技連盟・協会、選手に提供する2021年度シーズンの競技ウエアおよびトレーニングウエアに、『ダイバーシティ』をテーマにしたデザインを採用※1しています。 ※1 競技連盟・協会によって採用デザインが異なる場合があります

<参考情報>ミズノニュースリリース（2020年12月11日） 2021年度シーズン使用ウエアについて




<https://corp.mizuno.com/jp/newsrelease/2020/20201211/>

■グラフィックストーリー

ダイバーシティグラフィックには「スポーツの躍動感」「日本の感性」「都市のエネルギー」のデザインエッセンスを融合しています。アーティストの澁谷忠臣（しぶや ただおみ）氏と協業し日本のミックスカルチャーとスポーツのエッセンスを表現しました。

◇ダイバーシティグラフィック



スポーツの躍動感	日本の感性	都市のエネルギー
スタジアムの情景や筋肉の動きなどの選手のスピード感とエネルギーを、静から動につながる直線的なラインで表現	書道の筆文字の一部をデジタル処理しデザインに落とし込み、日本が持つ新旧を融合し新たな価値を創造する感性を表現	過去と未来が融合し進化を続ける東京の街を日本家屋やスクランブル交差点、高層ビルなどの直線的なラインで表現
 <p>スポーツの躍動感</p>	 <p>日本の感性</p>	 <p>都市のエネルギー</p>

▼特設サイトはこちら

<https://www.mizuno.jp/reachbeyond/2021/>

<澁谷忠臣（しぶやただおみ）氏プロフィール>

1973 年生まれ、横浜市出身。

直線的に再構築する世界感を持つアーティスト。その独自のスタイルで数々の世界中の企業とのコラボレーションやクライアントワークを行っており、2006 年ロンドンでの BECKS BEER の大規模なビルボード広告、2008 年に GIVENCHY のエンブレムデザイン、2012 年には氏の描いた RGI II のイラストが米ワシントンポスト特別号の一面を飾った。

また、2018 年の GU とのカプセルコレクション、“EYES LOVE TOKYO”が大きな話題を呼んだ。最近では、Indeed ジャパンオフィスや、新潟万代島旧水揚などで巨大な壁面作品を数々制作している。



<澁谷忠臣氏のウェブサイトとInstagram>

<http://tadaomishibuya.jp/>

<https://www.instagram.com/tadaomishibuya/>

（お客様のお問合せ先）

ミズノ お客様相談センター

TEL: 0120-320-799